

サノックスの目安箱 「コロナと私」



第 019 号 2020 年 8 月 26 日 貝瀬真知子

コロナ禍での願い

帯と革でバッグや小物を制作している私は、2020 年 3 月から、いくつかの作品展や手作り市を予定していました。

コロナの流行により全ての催事が中止となり、時間を持て余した結果、制作途中で投げ出していたモノや、今まで時間が無いとの理由で作らなかったモノの制作に取りかかる事としました。時間に余裕があると気持ちにも余裕が生まれ、未完成だったモノが次々と作品になります。それに伴い作業場も、そして自分の頭も心も整理されました。

自分自身の断捨離ができると、次の行動を起こしたくなるものです。ZOOM や Remo を使ってオンライン販売に挑戦です。初めてお会いする方とのオンライン会話は、緊張の連続でした。相手に分かりやすいように自然と声が大きくなり手に汗握りながら、身振り手振りが激しくなります。コロナ禍では、実際にお会いしてもマスク着用では表情が見えません。オンラインの方が相手の表情や様子がわかりやすく、会話の楽しさも感じます。ですがオンラインをしている時間は、家族にとってうるさくて迷惑だったでしょう。(笑)

今後のコミュニケーションのあり方を、リアルとオンラインの使い分けにより、ライフスタイル及び都市と地方の人口問題、そして自然環境問題が改善できると期待しています。コロナによるマイナス面はとても大きいですが、持続可能な世の中へ少しでも近づけたらと願います。

貝瀬真知子 (bag creator)

2020 年 8 月 25 日